

## スイカ割りで夏の終わりを楽しむ(^^) ～飛鳥ともしび苑～

8月21日の午後、飛鳥ともしび苑デイサービスでは「スイカ割り」を楽しんでいただきました！  
体を冷やす効果があるスイカは、盛り上がったあとにいただくとクールダウンに最適☆  
立派でよく熟したスイカ、皆さま美味しそうに召し上がっておられました(^\_^)



2人目、3人目と進めるうちに段々と皮が弾けて、もうすぐ割れそうです(\*^\_^\*)

トリに登場したのは本日がお誕生日の職員、日吉さん！  
職員は特別待遇でグルグル回転して平衡感覚がなくなってからのスイカ割り(^ω^)  
「右！」「前！」とスイカに近づくように声が飛び、大きく一振り！！  
みごと命中しました(^O^) ☆



スイカは体を冷やす効果以外にも、ビタミンCを含む栄養素も豊富に含まれています。強い紫外線を浴びるこの時期の食べ物として、とても理にかなっています！



## 職員インタビューコーナー

### 福祉の仕事に就いたきっかけ

前職は販売業でしたが、30歳を迎える頃からこの先を考え出した時に未経験からはじめられる介護士に着目しました。その後はヘルパー2級を取得し、老健やグループホームで経験を積みました。介護職員は最前線でご利用者様と関わり、やりがいもありましたが、健康面や栄養に関する事など、何かを決定する機会は少なかったため自分で決定するような仕事、かつ、自分でも取得できる資格はないか、と考え社会福祉士の資格を取ろうと決めました。働きながら通信で学び、勉強を重ねて2回目の挑戦で合格することができました(^-^)

その後病院に勤め出した頃、父のADLが下がり、地域包括支援センターが訪問してくれましたが父は繋がりを拒否しました。私自身はとても助かったので、その時「しんどいところにダイレクトにいけるこの仕事っていいな」と思ったことがきっかけとなり、今に至っています。

### 地域包括支援センターに入職して

はじめての困難ケースが目が不自由かつ居住空間が十分に確保できないほど物が多い部屋にお住まいの方でした。その後、その方と色々お話をし、ランチの方のアドバイスも受け、大阪府外の老人ホームに行かれたのですが、その方と最後に握手をして、「元気でね」と言うことができました。困難ケースほど「何とかしてあげたい」という想いが強くなる自分に気づき、日々やりがいを持って関わっています！

### やりたいこと

現状、高齢者の方、その介護者の方には情報が届きやすいのですが、今40代の方が60代の親御さんのその先をイメージすることは難しいと思っています。例えば飛鳥ともしび苑で楽しい催しでもして、まず足を運んでいただき、若い世代を対象に「親にその時が来たならここに電話してください」とチラシを配布できたらいいな、と思っています。困る前に、もっと若いうちから地域包括支援センターを知っていて欲しい。2年間働いて、そう思います。人に喜んでいただけることがしたいので、やることは全部やっていきたい気持ちです☆

### 大切にしていること

支援を受ける、拒否をする、どちらもご本人の自由だと思っています。自分自身、選択肢をきちんと提示して丁寧に説明をしながら信頼関係を作っていきますが、ご本人が拒否を貫かれるのであれば、それはご本人の意思だと受け取ります。ただ、ご本人の後悔がないように、特に「制度や支援の中身を知らないから使わない」ということがないように、しっかりと伝えていくことを大切にしています。



飛鳥ともしび苑 地域包括支援センター  
田村将志さん

### 休日の過ごし方

家でゲームをして過ごす事が多いですが、月に一度のペースで友人と映画鑑賞にも出かけます。平日は退勤後に剣道に通っており、稽古の後には、更にランニングをしていることもあって、平日はかなりアクティブに過ごしています。ですので土日は逆にゆっくりとした時間を過ごしています(^\_^)

### 未来の自分

ケアプランの作成がまだまだかな、と思っているので、その力を付けたいのと、精神保健福祉士の資格は取得したいと思っています。もう少しで3年目を迎えますが、5年目には出来る事が増えて1人前になりたいです。役職については何ともいえませんが、そつなく業務が遂行できるよう、日々努めています。いきたいと思います。